

大腸内視鏡検査・内視鏡的ポリープ切除術（コールドポリペクトミー） に対する説明書

1. 大腸内視鏡検査

【検査目的】

肛門から内視鏡を挿入し直腸から盲腸（一部小腸の末端）まで挿入します。
大腸の病気の発見、診断を行い、適切な治療方針を立てることが目的です。

【検査方法】

- ① 検査を行うためには大腸をきれいにする前処置が必要ですので下剤や腸管洗浄剤を内服して頂きます。
- ② 検査は通常15～30分程度で終了しますが、検査内容によっては時間を要することがあります。まれに腸管の走行が難しい方や腹部の手術で大腸の癒着がある方では検査を途中で終了する場合があります。
- ③ 実際の検査手順としては内視鏡を肛門より挿入し、大腸（一部小腸の末端）を観察します。検査前または検査中に施行医の判断で胃腸の動きを弱める薬剤（鎮痙剤）を使用することがあります。鎮静薬を希望される方には検査が始まる前に点滴ルートを確認し、適宜鎮静剤を投与します。
- ④ 病変が疑われた場合には施行医の判断でポリープの切除または組織の一部を採取することがありますが 特に痛みはございません（一時的に軽度の出血がみられますので抗血栓薬（血液をサラサラにする薬）を服用中の方、あるいは血の止まりにくい持病がある方は検査前にお申し出ください。抗血栓薬は種類や複数内服している場合に生検や治療ができない場合があります）。

2. 内視鏡的ポリープ切除術（コールドポリペクトミー）

※治療を行った際の会計は検査費用から治療費用に変更となります。

【検査・治療目的】

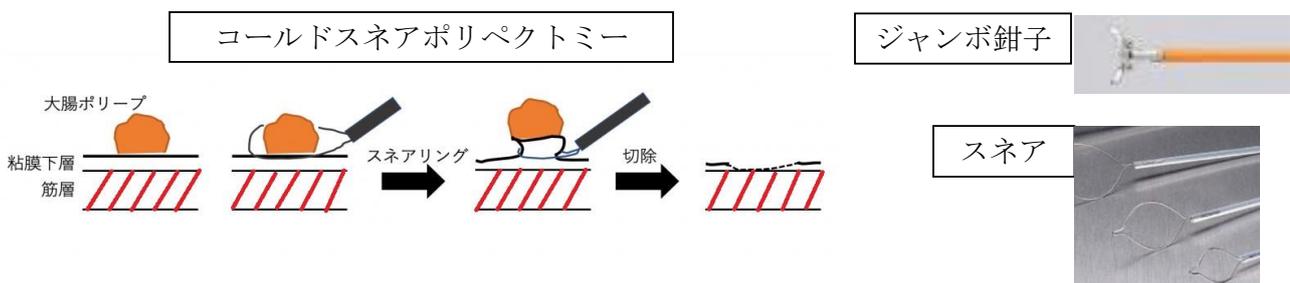
大腸癌の多くがポリープから発生していくことが分かっており、ポリープの形状が大きくなるにつれて癌化する確率が高くなっていきます。小さくても形状がいびつだったりすると、悪性の可能性もあります。ポリープの大きさ・形状を観察し、切除が必要なものを切り取って良性か悪性か、また悪性であれば程度を調べます（病理組織診断）。病理組織診断結果にて問題なく切り取れていれば治療が完了します。

もし、癌の程度が進行していた場合は外科的手術が必要になることがあります。

【治療方法】

内視鏡検査にて10mm以下のポリープ（腺腫[良性]疑い）が見つかった場合、その場でポリープ切除ができます。1回の検査で3～5個程度までは切除しますが、内視鏡担当医の判断で個数が多い方に関しては治療後の出血の危険性を考慮して数回に分けての治療もしくは入院して治療を勧めることがあります。方法としては、内視鏡カメラよりジャンボ鉗子もしくはスネア（金属のワッカ）を用いて切除します。切除後一時的に出血はしますが、基本的には自然止血します。出血が持続する場合は金属製のクリップで切除した傷口をふさいで止血します。

※ 抗血栓薬（血液をサラサラにする薬）を定期内服している方に関しては、ポリープ切除が出来ない場合がございますので、事前に依頼医にご相談して下さい。



3. 鎮静薬・鎮痛薬について

内視鏡検査時には個人差がありますが苦痛や不安感を伴います。当院では検査時の苦痛や不安を少なくする目的で、ご希望の患者さんには鎮静薬を注射し検査を行っています。ご自身での運転で来院された方は、鎮静剤の使用を強くご希望されても使用できませんのでご了承ください。

※慎重投与として、高齢者・肝機能障害・腎機能障害・呼吸不全・授乳中の方は内視鏡医との相談となります。

鎮静薬を注射することで眠ってしまう方もいますが、ほとんどの方は『ぼんやりしている』『うとうとしている』という状態になります。必ずしも完全に眠った状態での検査とはなりません。検査後は眠気が残ったり、足元がふらついたりすることがありますので、必ず1時間は病院にて安静にして頂き、問題が無いことを確認出来ましたらご帰宅となります。検査後は飲酒後に近いような状態であり、ご自身で乗り物の運転（車・バイク・自転車など）をすることはできません。また、重要な仕事の予定や危険を伴う作業はなされないようお願いします。鎮静薬投与による偶発症（患者さんの不利益な合併症・副作用）としては、注射部位の炎症、静脈炎、血管痛、血圧低下、呼吸抑制、低酸素血症、健忘（検査中・検査後の記憶がなくなる）、不整脈、アレルギーなどの可能性があります。このほかに予想外の偶発症が起こる可能性もあります。2016年度の消化器内視鏡学会の全国調査によると鎮静剤投与による偶発症は0.0013%（約8万分の1）、死亡率は0.000023%（約430万分の1）と報告されています。

4. 常用薬について

常用している内服薬のある方は事前にご相談ください。抗血栓薬（血液をサラサラにする薬）は必ず主治医（処方医）に内服方法を相談してください。※自己判断で内服をやめないでください。

5. 検査後

- ① 鎮静薬を希望する場合、危険ですのでご自身での運転（車・バイク・自転車等）はお止めください。使用後は約1時間程度病院にて安静確認させて頂き、問題無いことが確認出来ましたらご帰宅となりますが、ポリープ切除を行った場合に入院加療が必要となる場合があります。
- ② 結果については、後日外来で説明します。

6. 偶発症（患者さんの不利益な合併症）

前処置による偶発症では腸管洗浄液の内服による腸閉塞（腸管に病変や便塊があり排泄が出来ない状態）、腸管穿孔（腸に穴があくこと）、嘔気・嘔吐、気分不良、冷汗、アナフィラキシーショックなどがあります。検査による偶発症では出血（組織検査による出血も含む）、嘔気、嘔吐、手足の痺れ、穿孔（大腸に穴があくこと）などがあります。2016年度に報告された消化器内視鏡学会の全国調査では、前処置に対する偶発症は0.0036%（約1/3万）、死亡率は0.00079%（約1/13万）大腸内視鏡検査に対する偶発症は0.011%（約1/0.9万）、死亡率は0.0004%（1/25万）と報告されています。治療による偶発症では切除後に出血や穿孔（腸に穴があくこと）が起こることがあります。また、帰宅後に出血する場合があります。場合によっては緊急入院や再度内視鏡による追加処置や外科的手術が必要になることもあります。

偶発症については起こらないように細心の注意を払っています。万が一の偶発症に対しては最善の対処を致します。偶発症に対する処置（入院・手術・他必要な検査を含む）の医療費は患者負担（保険診療）となりますのでご了承をお願いします。

7. 検査・治療費用

検査項目	1割負担	3割負担
内視鏡検査のみ	2,500円前後	7,500円前後
内視鏡検査+病理検査	3,500～5,000円	10,000～20,000円
大腸ポリープ切除	7,000円～10,000円	20,000円～25,000円

通常は外来での処置となりますが、大腸ポリープ治療後に入院加療が必要となることもあり、その際には約5,000～20,000円程度追加（1泊2日入院の場合）となります。お部屋の種類などで別途追加料金が発生することがあります。

※ なお、コールドポリペクトミーを行った場合、生命保険等の申請が可能ですので加入している保険会社に確認の上でご相談ください。

大腸検査前の食事について

正確な診断のために、大腸をきれいしておくことが大切です。

	望ましい食品
主食	おかゆ、やわらかめのご飯うどん 冷麦、そうめん 食パン、ロールパン、クリームパン、メロンパン (粒が入ったジャムは×、マーガリン、チーズ、はちみつは○)
汁物	味噌汁、コンソメスープ、お吸い物 (具なしは、豆腐、麩、卵は○、ねぎは×)
おかず	鶏肉、ささ身、ヒレ肉(脂身の少ない赤身肉) 白身魚(カレイ、ヒラメ、タラ、鯛など) 豆腐、卵豆腐、茶碗蒸し(具なし)、高野豆腐 ジャがいも、山芋、里芋
おやつ	ビスケット、ゼリー、プリン、カステラ、アイス、ヨーグルト、あめ
果物	バナナ、リンゴ、梨、桃、果物の缶詰(種は食べない)
飲み物	水、お茶、スポーツドリンク、粒のないジュース、コーヒー、紅茶、牛乳、豆乳

	避けてほしい食品
穀物 豆	玄米、麦、発芽米、ゴマ、納豆 枝豆、ピーナッツ、粒あん、大豆
海藻類 魚介	わかめ、ひじき、海苔、ところてん もずく、タコ、イカ、あさり、しじみ
野菜	トマト、玉ねぎ、きゅうり、ごぼう、こんにゃく、キャベツ、白菜、ニンジン、カボチャ、ホウレン草、ピーマン、ねぎ
きのこ類	しいたけ、しめじ、えのき マイタケなどきのこ類全般
肉・魚	ベーコン、ハム、ソーセージ、牛肉、豚肉、マグロ さんま、うなぎ、刺身
揚げ物	天ぷら、串カツ、とんかつ
おやつ	ドーナツ、ポテトチップ、ケーキ
飲み物	果物入りジュース、野菜ジュース、アルコール
果物	パイナップル、イチゴ、キュウイ、スイカ メロン、みかん、柿、レーズン

★繊維の多い硬い食品、油の多い食品は、消化に時間がかかるので避けましょう。

★調理法は、煮る、蒸す、茹でる、テフロンフライパンでのオイル少量炒めにする(油炒め、揚げるは×)

メニュー例	【朝食】	【昼食】	【夕食】
	トーストに蜂蜜、ゆで卵、コンソメスープ	うどん(具なし) 【おやつ】 ビスケット	おかゆ、白身魚の卵とじ、里芋のお吸い物、リンゴ

検査時に見かける大腸内に残っている食品例
 玉ねぎ、こんにゃく、わかめなど

【そのほかのメニュー例】

たまご粥、鶏粥、にゅう麺、鶏肉や魚のホイル蒸し、具なし茶碗蒸し、白身魚の卵とじ、豆腐ステーキなど

内視鏡検査を受けられる方へのお願い

内視鏡検査における新型コロナウイルス感染症への対応について

検査を受けられる方が新型コロナウイルスに感染していると、胃カメラ検査時の咳などでウイルスが飛び散り、感染拡大のリスクが高くなります。このウイルスは便にも存在が確認されており、大腸内視鏡でも感染拡大のリスクがあります。また症状が無い方でもウイルスに感染している場合があります。

- 発熱／感冒症状／倦怠感／咳／息苦しさのある方
- 原因不明な味覚障害、嗅覚障害のある方
- 検査日2週間以内に、家族に発熱者がいる方
- 検査日2週間以内に、渡航歴または陽性者・濃厚接触者との接触があった方
- 検査日2週間以内に、熊本県外への往来があった方（本人・家族）
- 検査日2週間以内に、マスクを外しての複数人で会食や飲食をされた方
- 検査日2週間以内に、多人数が集まるイベントなどに参加された方

上記に当てはまる方は検査予約済みであっても問診や体温測定の結果によって、当日の医師の判断で検査を中止または延期させて頂いております。

その為、健康状態の確認のため検査数日前にお電話させて頂くこともあります。

ご不便をおかけいたしますが新型コロナウイルス感染を予防するためにご協力とご理解をお願いいたします。

武蔵ヶ丘病院